

【史料⑯】遊軍二番寄帳（天保十三年）

天保十三壬寅年

遊軍一番寄帳

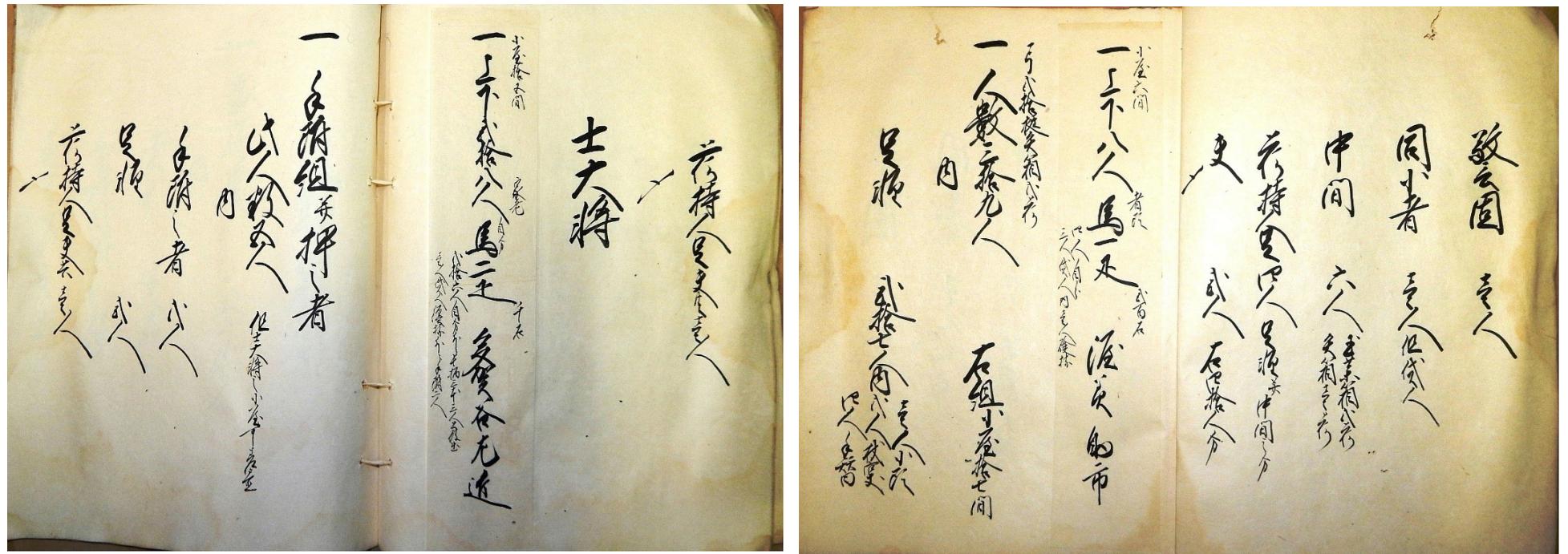
遊軍式番	弓鉄炮支配	右組小屋拾八間	右組小屋拾八間	壹人小頭 三人杖突 四人手替	一 人 數 四 拾 弐 人	小屋 上 下	鉄炮拾六挺 弓四張、玉薑箱弐荷、矢箱壹荷
足輕	内						
弐拾八人内							
壹人小頭 三人杖突 四人手替							

⑯遊軍二番寄帳（一部）

天保 13 (1842) 年

この文書は、川越藩主松平家が相模国の海岸防備のため組織した部隊の一つ「遊軍二番」の藩士名・装備などを記したもので
す。遊軍とは、戦列の外にあって、いつでも出動できるように待機している軍隊、遊
撃隊のことです。部隊人数は計42人（足
軽28・警固1・警固小者1・中間6・荷持
ち人足4・人夫2）、詰め所の小屋は18
間（四方）、装備は鉄砲16挺・弓4張・
玉薬箱2荷・矢箱1荷、と記されています。
文書の最後の方には、士大将で家老
の多賀谷左近（多加谷家とは別家）の名前
と装備などが記載されています。

多加谷敏則家文書 P1108 No. 29



警固 壱人

同小者 壱人 但貸人

中間 六人 玉薬箱武荷

夫 荷持人足四人 矢箱壹荷

夫 武人 足輕并中間之分

右四拾人分

小屋六間 上下八人 馬一疋 武百石

弓武拾挺、矢箱武荷 四人自分

三人貸人 内壹人驗持

人数三拾九人

右組小屋拾七間

馬一疋 溫美助市

内

足輕 武拾七人内 壱人小頭

内

荷持人足夫共壹人 武人杖突

四人手替

(中略)

士大将

家老 自分 千石

士大将

小屋拾五間

一 上下武拾八人 馬二疋 多賀谷左近

武拾六人自分 外二長柄三本公役出

壹人貸人 繼持 外二手附二人

手附組并押之者

此人数五人 但 士大将之小屋 可三差置二

内

手附之者 武人

足輕 武人

荷持人足夫共壹人

（後略）